



大草のよさ再発見～小回りがききます～

これまでも、たびたびお伝えしてきた大草のよさを、改めて発見しました。それは、全校児童で行動することになっても動きやすく、大変小回りがきくということです。

昨日、佐世保のダービースクールというアメリカンスクールに全校児童で交流に出かけました。引率の職員を入れても大型バス1台で行くことができるのです。これが大きな学校だったら学年や人数を制限するなど制約が大きくなります。全校児童で丸1日校外学習に行くことは、本当に楽しい時間でした。

ダービースクール側は4年生が交流相手でした。大草小児童は、いつも掃除をやっている縦割り班に分かれ、高学年がリーダーとしての責任を果たしてくれました。

交流学習では

- タブレットを使って「マイクラフト」をする時間もありました。子どもたちの間では「マイクラ」と呼ばれる人気のゲームの教育版でした。大草小の中には、普段やっている人もいて、楽しそうに操作していました。
- ビスケットを使ったゲームもありました。おでこの上に乗せたビスケットを目や頬の筋肉を動かしてうまく口に運んで食べるゲームです。「アメリカの子は表情が豊かなので、よくビスケットが動いていた」と気づく先生もいたように、表情筋を鍛えるねらいも隠れているのでしょうね。
- ビーズを使ったボードゲームでは、「学童でやったことがある!」と逆に大草小の子どもたちがルールをよく理解しており、教えてあげる場面もありました。
- ペアの子にトイレトペーパーをぐるぐる巻きにするゲームもありました。大草小の子どもたちが興奮して楽しみながらも、「もったいない…」と口々に言っていたのが印象的でした。
- 学校探検に案内してもらいました。廊下の掲示がとても立体的で、思わず見とれてしまいました。しかし、うかうかしているとあっという間にはぐれてしまい、迷子になりそうなくらい広かったです。
- 昼休みは、新しく整備しなおされたばかりでピカピカに輝いている遊具で自由に遊びました。やっぱり遊びの中で仲良くなる子どもたちです。ペア以外の子と関わる子どもも多くみられました。

子どもたちはもちろんですが、私たち大人にとっても多くの学びがあり、とても有意義な時間となりました。来年度はむこうからやってくる児童を、おもてなしすることになりそうです。大草のよさを味わってもらう作戦を子どもたちと一緒に考えていきたいと思えます。